

碧南市民病院



外観

愛知県碧南市の公立病院である「碧南市民病院」は、地域における中核病院として、救急医療、チーム医療による高度医療、リハビリテーション医療に力を注ぎ、患者さんを中心に据える質の高い医療を提供している。



内観

院内は、ホスピタル・ストリートと中庭を軸とした全体構成で、患者に対するアメニティを随所に追求した温かみに満ちた快いデザイン。1992(平成4)年4月に「第1回病院建築賞・厚生大臣賞」を受賞している。



2F病棟
エレベーターホール

階ごとにバステル調のテーマカラーが設定されており、自分がどこの階にいるのか、患者さんにもスタッフにもわかりやすくしており、内装デザインや什器の選定も配慮されている。



2F病棟 洗面コーナー

洗面コーナーには、洗髪器、車いす用壁掛洗面器、ステンレス製の足洗い場を用意。足洗い場は、入浴できない患者さんが利用されている。



2F病棟 男性トイレ

トイレ内の通路幅や扉の有効開口幅、ブースサイズともにゆったりとした広さが確保されており、車いす使用者や介助者を伴った利用などにも配慮。洗面器の足元にスペースを確保し、車いすでも利用しやすくなっている。



2F病棟 男性トイレ

ブースの設備にバリエーションを持たせ、さまざまな身体状況の患者さんに対応できるように配慮。パブリックコンバクト便器・フラッシュタンク式と、ボタンを押す力で発電し電源不要のエコリモコンを採用している。



2F病棟 男性トイレ

便器への移乗や座位の保持をサポートする、前方ボード(スイングタイプ)を設置したブース。トイレ離座センサー専用ウォッシュレットが採用され、センサーの入切ボタンはスタッフが操作しやすい壁上方に設置している。



2F病棟 女性トイレ

各通路から見やすいよう2ヶ所に設置されたトイレ入口へ誘導する突き出しのピクトグラムサイン。さらに、通路のコーナー壁には、ほかのトイレやエレベーターの場所、個室番号も掲示され、わかりやすく案内している。



2F病棟 女性トイレ

すべての大便器ブースの扉を引戸とし、開口幅を1100mm確保。内装も柔らかく温かみのあるカラーリングで、安心して心地よく使えるインテリアとなっている。



2F病棟 女性トイレ

男性トイレと同じく、前方ボード(スイングタイプ)およびトイレ離座センサー専用ウォッシュレットを設置したブースと、L型手すりを設置したブースを用意し、利用者に応じて選択できるようになっている。



2F病棟 洗浄室

男女トイレの間にある洗浄室。入口を2ヶ所設けて通り抜け可能とし、各病室からもアクセスしやすいレイアウト。タンクのレバーは、軽い力で押して洗浄できるため、手の甲などでも操作可能としている。



2F病棟
バリアフリートイレ入口

バリアフリートイレのサインは、レインボーカラーと男、女、車いすのピクトグラムを掲示し、性的マイノリティを含めた多様な利用者が、気兼ねなく使用できるよう配慮している。

碧南市民病院



2F病棟
バリアフリートイレ①

機能にバリエーション持たせた4ヶ所のバリアフリートイレ。その①には、前方ボード(スイングタイプ)を設置した大便器と小便器を設置し、小便器を使用したい患者さんへ配慮している。



2F病棟 個室A

扉を2面にして開口部を広くすることができる引戸を採用したトイレをベッドの近くに配置し、アプローチ性を高めている。さらに、カウンター一体形の壁掛洗面器を採用してスペースを有効利用している。



4F病棟 感染症病床

感染症病床と空間を分離することができるよう、今回の改修工事にて扉を設置。扉は軽い力で開けることができる。コロナ禍を経ての改修であり、院内全体で感染対策にはより一層力を入れている。



2F病棟
バリアフリートイレ②

コンパクトオストメイトバックと、収納式多目的シートを設置したバリアフリートイレ②。大便器には、転倒リスクの低減対策として、立ち上がりや長時間着座を報知するトイレ離座センサー専用ウォシュレットを採用。



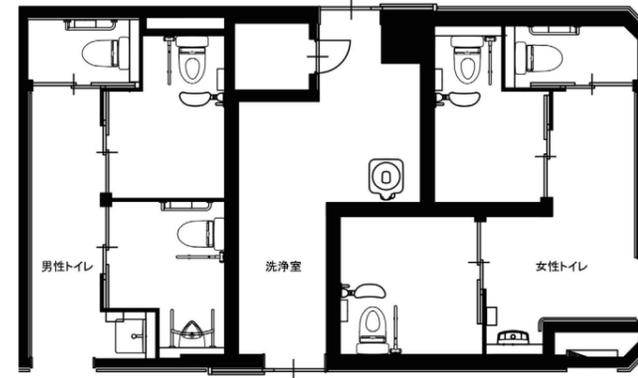
2F病棟 個室A

トイレの扉を両方閉めた状態(左)と両方開けた状態(右上)。片方の扉だけ開けて使う際、使わない方の扉が動かないよう、ロックすることができる。



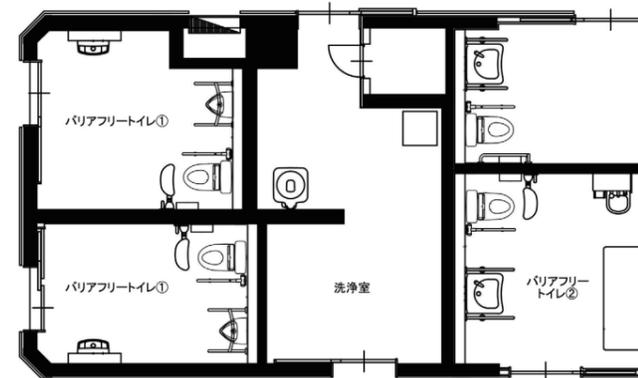
5F病棟
スタッフステーション

スタッフステーションの各入口には、しっかりと手洗いができる大型ボール形状のスタッフ用手洗器(あふれ面高さ850mm)を設置。衛生的に手洗いで、ラクな姿勢で腰への負担も軽減できる。



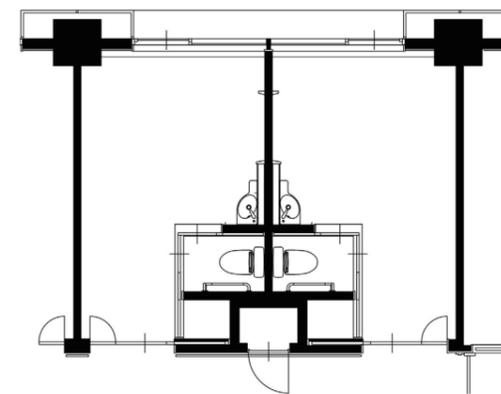
2F病棟 トイレ図面

男女トイレともに、ゆったりとした大便器ブースを3ヶ所設置。ブース扉も引戸となり、車いす使用者でも問題なく利用できるようになった。



2F病棟
バリアフリートイレ図面

小便器を使用したい方のために、バリアフリートイレ①に小便器を設置。バリアフリートイレ②には、コンパクトオストメイトバックや収納式多目的シートを設置し、患者さんの身体状況にあわせて選択できる。



2F病棟 個室A図面

個室トイレは、ベッドからアプローチしやすい位置に配置し、排せつの自立を促すことができる。介助が必要な場合や車いすの場合は、2面の扉を開放することで、開口部を広くすることができる。

水まわりの特長

改修の経緯

1988(昭和63)年に開院した「碧南市民病院」は、「温かな心のもった医療」の提供を基本理念とする、愛知県碧南市の公立病院。診療科20科、病床255床を有する、市内唯一の総合病院である。職員一人ひとりに理念が浸透しており、患者さんにあわせた温かな対応がなされている。また、碧南市だけでなく、この地域の急性期医療の中心を担い、ほかの地域にある病院と役割分担をした上で連携。また、介護施設との連携も強化し、退院後の患者さんの生活も見つめている。築35年を経過した建物は老朽化し、患者さんやスタッフにとって不便なことが多くなったため、患者の療養環境の向上とスタッフの職場環境の整備を目的として改修工事を実施。理念にふさわしい、より心地よく、明るい病院へと生まれ変わった。

水まわりの特長

病棟改修工事でトイレ付きの個室を39部屋から45部屋にし、共用トイレは全洋式化してスペースを広く確保した。病棟に設置されていた和式トイレは、すべて洋式便器に変更。トイレ入口や通路幅も広く、車いす使用者や点滴スタンドを持つて利用する患者さんや介助付での利用時にも安心して使えるスペースを確保。また、大便器ブースの手すりにバリエーションを持たせ、患者さんの身体状況に応じて大便器ブースが選択できる。さらに、広いスペースを確保したバリアフリートイレは、性的マイノリティの方など幅広い利用者に配慮して仕様やサインを工夫。ブースによって小便器やコンパクトオストメイトバック、収納式多目的シートを設置するなど、患者さん自身で使用しやすいトイレを選択できるようにしている。

建築概要

名称	碧南市民病院
所在地	愛知県碧南市平和町3-6
施主	碧南市
設計	株式会社 青島設計
施工	建築 木村建設株式会社
竣工年月	(改修)2023年8月
敷地面積	50,800㎡
建築面積	12,243㎡
延床面積	27,324㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地下1階、地上5階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BM*K
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534AU
- トイレ離座センサー専用ウォシュレット:TCF5841P特
- 棚付二連紙巻器:YH701
- 壁掛小便器:UFH500系
- 壁掛ハイバック洗面器:LSA135CN
- 壁掛洗面器:MLRB32BAL
- 車いす用壁掛洗面器:L103A
- 壁掛手洗器:LSE870APS
- 洗髪器:S305DNU
- コンパクトオストメイトバック:UAS81RDC1NW
- 収納式多目的シート:EWC520ARS
- 前方ボード(スイングタイプ):EWCS740
- パブリック用手すり:T112CL10, T112HK7R, T112CU22, T112CP23
- パブリック用流し:SKL330TNNNR